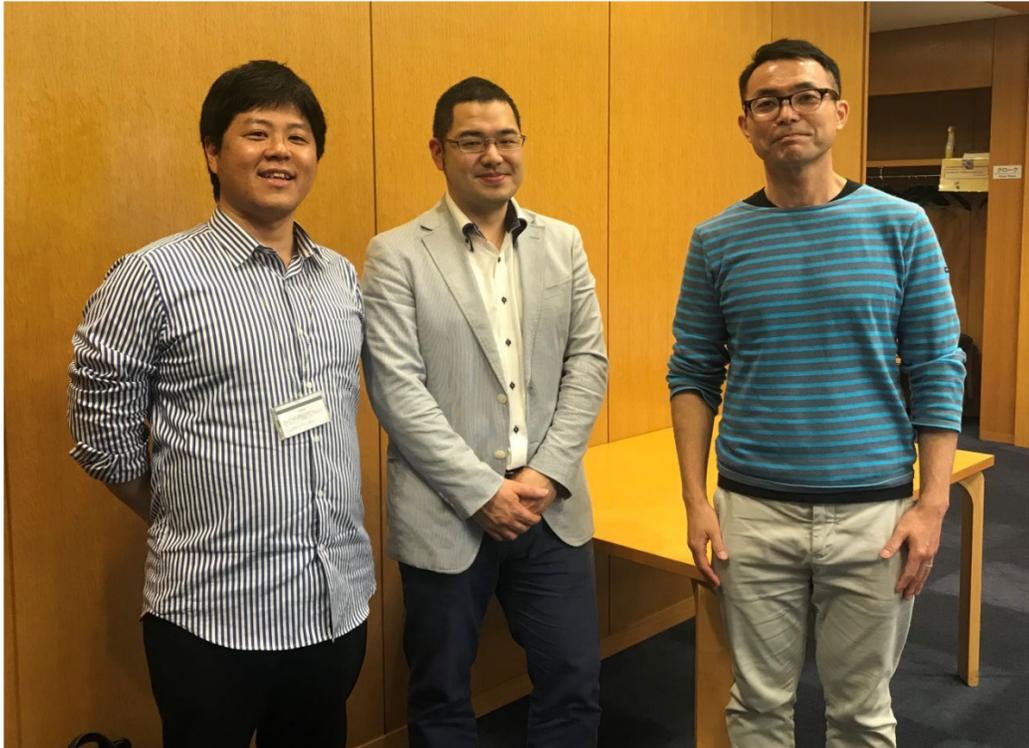


研究室名	食品分析学研究室 学会発表
------	----------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2019年
学会名	理研CSRSセミナー「質量分析を用いた植物ホルモンの可視化を目指して」
演題名	Visualization of abscisic acid and 12-oxo-phytodienoic acid in immature Phaseolus vulgaris L. seeds using imaging mass spectrometry
発表者	○ <u>榎元 廣文</u> (食品分析学研究室)

内容	<p>本セミナーは4月25日（水）、理化学研究所、横浜キャンパスにて、環境資源科学研究センター、適応制御研究ユニットリーダーの瀬尾光範先生の主宰で行われた。演者には、最先端の質量分析手法であるイメージング質量分析および細胞質量分析を用いた植物ホルモンの解析に取り組む国内の5名の研究者が選ばれ、それぞれ、最新の研究成果および直面する技術的な課題について講演を行った。現状、質量分析を用いた植物ホルモンの可視化は非常にチャレンジングな研究テーマであり、その後の総合討論では、聴講者も含めて植物ホルモンの可視化技術の確立およびその応用展開について非常に活発な議論が行われた。本セミナーを足がかりとして本研究分野が活性化し、今後、大きく発展していくことが期待される。</p>
----	--

内容	 <p>瀬尾光範 先生 (右、理化学研究所、ユニットリーダー)</p> <p>清水崇史 先生 (中、奈良先端科学技術大学院大学、助教)</p>
----	---